

福島第一原子力発電所6号機の燃料移動に向けた原子炉開放作業の開始について

- 原子炉に装荷されている燃料については、安全性向上と設備に対する維持管理の合理化の観点*1から使用済燃料プールへ移動し、一括管理することとしています。その燃料移動のため、原子炉開放作業を行います。

*1:燃料を使用済燃料プールで一括管理することにより、安全管理の面で一層向上する。

- 原子炉開放作業に先立ち、原子炉開放及び燃料移動に必要な設備（原子炉建屋天井クレーン、燃料取扱機、使用済燃料貯蔵ラック、使用済燃料貯蔵プール）の点検等、適宜準備を進めてきましたが、それらの準備が整ったことから、9月17日より約1ヶ月間程度かけて原子炉開放作業を実施します。
- その後、10月下旬に、原子炉から使用済燃料プールへの燃料移動を開始する予定です。

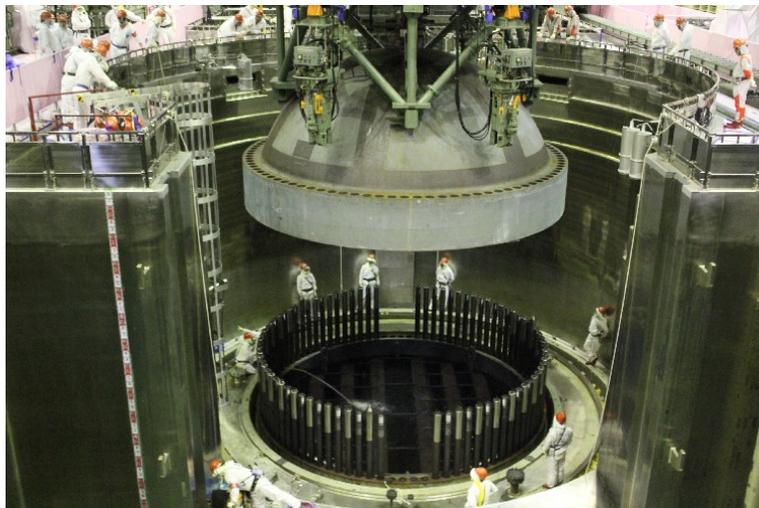
○原子炉開放作業とは

コンクリートハッチ、原子炉格納容器の蓋、原子炉圧力容器の蓋、蒸気乾燥器、気水分離器の取り外しを順次行っていく作業です。

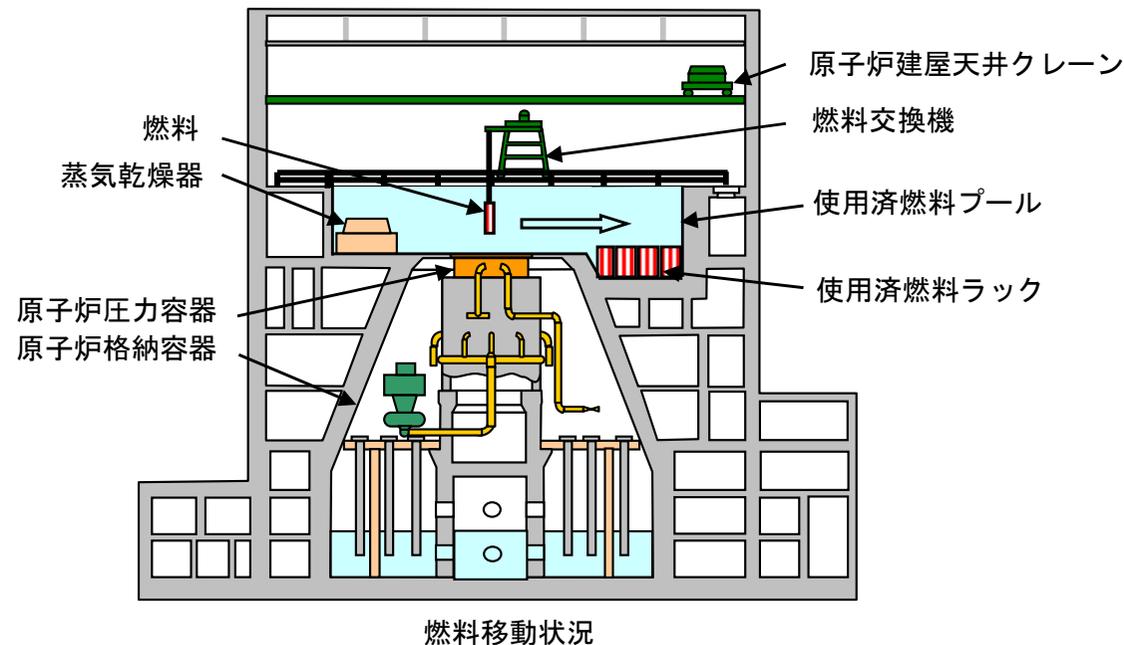
○燃料移動に係わる作業予定

原子炉開放作業完了後、10月下旬から燃料移動を開始する予定です。

実施期間については、約1ヶ月間程度かけて原子炉内の全燃料(764体)を移動します。



【参考】原子炉圧力容器の蓋取り外し状況
(福島第二原子力発電所4号機)



【福島第一原子力発電所6号機 原子炉開放の流れ】

当所6号機の原子炉開放については、9月17日より開始し、コンクリートハッチ、原子炉格納容器の蓋、原子炉圧力容器の蓋、蒸気乾燥器、気水分離器の取り外しを順次行ってまいります。

